

平成27年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

平成26年度森林環境基金事業の 実績について

- 平成26年度森林環境基金事業の枠組(実績)
- 平成26年度森林環境基金充当事業 実績一覧表
- 平成26年度森林環境基金事業の実績について

平成28年1月20日

福島県農林水産部森林計画課

平成26年度森林環境基金事業の枠組(実績)

税込 10.96億円(確定)
 【個人事業者・給与所得者 9.00億円 法人 1.96億円】

県・市町村の徴収取扱費
 0.77億円(税込の7%)

森林環境基金(全国植樹祭勘定)
 【今年度繰り入れ0.70億円】

森林環境基金 12.17億円
 【今年度繰り入れ 9.49億円+前年度からの繰り越し等2.68億円】
 平成26年度事業費:1,207,803千円 うち国庫の活用158,603千円

県事業 9.35億円 (77.5%)

もり
**森林の未来を考える
 懇談会**
 意見・事業評価

市町村事業 2.72億円 (22.5%)

【単位:千円】

森林環境を保全するための事業 877,465 (72.7%)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 57,885 (4.8%)
森林環境の適正な保全 726,981 (60.2%) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施業集約化を促進するための支援	県民参画の推進 33,496 (2.8%) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・県立学校における森林環境学習等 ・森林環境情報の発信や森林づくり県民運動の浸透・拡大 ・森林づくり県民運動推進事業 ・全国植樹祭準備事業
森林資源の活用による持続可能な社会づくり 150,484 (12.5%) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・需要拡大に向けた県産材の活用促進支援	ふくしまの森林文化の継承 20,018 (1.7%) ・県内の森林文化の調査、継承に向けた公開体験等 ・森林文化を活用した地域再生
	森林環境の調査 1,706 (0.1%) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究
	森林環境基金の運営 2,665 (0.2%) ・森林環境基金事業の県民への広報・公聴、懇談会の開催等

森林環境を保全するための事業 87,189 (7.2%)	もり 森林づくりの意識を醸成するための事業 185,264 (15.3%)
森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 87,189 (7.2%) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他	森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 185,264 (15.3%) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進

(3-1)

平成26年度森林環境基金充当事業 実績一覧表

H28.1.20 福島県 農林水産部 森林計画課

単位:千円

施策区分	事業名	担当課	事業実績			当初予算			増減			基金繰入 対当初比 (a)/(b)	備考
			計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳			
				基金繰入金(a)	国庫等		基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等		
1	森林環境の適正な保全		726,981	568,386	158,595	744,861	575,041	169,820	△ 17,880	△ 6,655	△ 11,225	98.8%	
	(1)森林整備事業	森林整備課	707,003	556,473	150,530	707,081	556,551	150,530	△ 78	△ 78	0	100.0%	
	(2)森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	12,098	4,033	8,065	28,935	9,645	19,290	△ 16,837	△ 5,612	△ 11,225	41.8%	
	(3)森林環境適正管理事業	森林計画課	5,758	5,758		5,953	5,953		△ 195	△ 195		96.7%	
	(4)花粉の少ない森林づくり事業	森林整備課	2,122	2,122		2,892	2,892		△ 770	△ 770		73.4%	
2	森林資源の活用による持続可能な社会づくり		150,484	150,484	0	151,074	151,074	0	△ 590	△ 590	0	99.6%	
	(5)間伐材搬出支援事業		69,200	69,200	0	69,200	69,200	0	0	0	0	100.0%	
	間伐材運搬経費支援事業	林業振興課	7,000	7,000		7,000	7,000		0	0		100.0%	
	林内作業路整備支援事業	森林整備課	25,000	25,000		25,000	25,000		0	0		100.0%	
	間伐材二酸化炭素削減支援事業	林業振興課	37,200	37,200		37,200	37,200		0	0		100.0%	
	(6)森林整備促進路網整備事業	森林整備課	37,500	37,500		37,500	37,500		0	0		100.0%	
	(7)ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		30,039	30,039	0	30,462	30,462	0	△ 423	△ 423	0	98.6%	
	カーボン・オフセット森森(もりもり)元気事業	森林保全課	230	230		304	304		△ 74	△ 74		75.7%	
	緑の住宅普及支援事業	林業振興課	2,349	2,349		2,658	2,658		△ 309	△ 309		88.4%	
	【新】ふくしまの家・担い手応援事業	建築指導課	2,500	2,500		2,500	2,500		0	0		100.0%	
	森と住まいのエコポイント事業	建築指導課	24,960	24,960		25,000	25,000		△ 40	△ 40		99.8%	
	(8)もっともっと木づかい推進事業	林業振興課	13,745	13,745		13,912	13,912		△ 167	△ 167		98.8%	
3	市町村が行う森林づくり等の推進		272,453	272,453	0	282,671	282,671	0	△ 10,218	△ 10,218	0	96.4%	
	(9)森林環境交付金事業		272,453	272,453	0	282,671	282,671	0	△ 10,218	△ 10,218	0	96.4%	
	森林環境基本枠	森林計画課	185,264	185,264		194,810	194,810		△ 9,546	△ 9,546		95.1%	
	地域提案重点枠	森林計画課	87,189	87,189		87,861	87,861		△ 672	△ 672		99.2%	
4	県民参画の推進		33,496	33,488	8	38,576	38,568	8	△ 5,080	△ 5,080	0	86.8%	
	(10)林業普及推進事業	林業振興課	400	400		400	400		0	0		100.0%	
	(11)森林環境学習の森整備事業	森林保全課	11,388	11,388		11,414	11,414		△ 26	△ 26		99.8%	
	(12)森林ボランティア総合対策事業	森林保全課	7,594	7,594		9,259	9,259		△ 1,665	△ 1,665		82.0%	
	(13)森林づくり指導者育成事業		2,118	2,118	0	2,300	2,300	0	△ 182	△ 182	0	92.1%	
	第3期もりの案内人養成事業	森林保全課	1,869	1,869		1,923	1,923		△ 54	△ 54		97.2%	
	森林環境学習指導者育成事業	森林保全課	249	249		377	377		△ 128	△ 128		66.0%	
	(14)県立学校における森林自然学習支援事業	高校教育課	2,127	2,127		2,364	2,364		△ 237	△ 237		90.0%	
	(15)ふくしまからはじめよう。森林とのきずな事業		8,188	8,180	8	9,868	9,860	8	△ 1,680	△ 1,680	0	83.0%	
	森林環境情報発信事業	森林計画課	6,006	5,998	8	7,225	7,217	8	△ 1,219	△ 1,219	0	83.1%	
	【新】森林づくり県民運動推進事業	森林保全課	2,182	2,182		2,643	2,643		△ 461	△ 461		82.6%	
	(16)【新】全国植樹祭準備事業	森林保全課	1,681	1,681		2,971	2,971		△ 1,290	△ 1,290		56.6%	
5	ふくしまの森林文化の継承		20,018	20,018	0	20,596	20,596	0	△ 578	△ 578	0	97.2%	
	(17)ふくしまの森林文化継承事業		7,978	7,978	0	8,556	8,556	0	△ 578	△ 578	0	93.2%	
	ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課	5,439	5,439		5,810	5,810		△ 371	△ 371		93.6%	
	木(森)に由来する伝統文化継承事業	林業振興課	2,539	2,539		2,746	2,746		△ 207	△ 207		92.5%	
	(18)【新】森林文化の活用による地域再生事業	文化振興課	12,040	12,040		12,040	12,040		0	0		100.0%	
6	森林環境の調査		1,706	1,706	0	4,200	4,200	0	△ 2,494	△ 2,494	0	40.6%	
	(19)猪苗代湖水環境保全対策調査事業	水・大気環境課	1,706	1,706		4,200	4,200		△ 2,494	△ 2,494		40.6%	
7	森林環境基金の運営		2,665	2,665	0	3,145	3,145	0	△ 480	△ 480	0	84.7%	
	(20)森林環境基金運営事業	森林計画課	2,665	2,665		3,145	3,145		△ 480	△ 480		84.7%	
合計			1,207,803	1,049,200	158,603	1,245,123	1,075,295	169,828	△ 37,320	△ 26,095	△ 11,225	97.6%	
積立予算			1,019,360	1,019,217	143	995,127	995,127	0	24,233	24,090	143		
	(21)森林環境基金	森林計画課	1,019,360	1,019,217	143	995,127	995,127	0	24,233	24,090	143		
	森林環境基金		949,360	949,217	143	925,127	925,127		24,233	24,090	143	102.6%	一般財源
	【新】森林環境基金(全国植樹祭勘定)		70,000	70,000		70,000	70,000		0	0		100.0%	一般財源

平成26年度森林環境基金事業の実績について

1 森林環境の適正な保全

(1) 森林整備事業

【森林整備課】

事業概要

水源区域及び水源かん養又は山地災害防止機能の発揮を重視する森林において、手入れが行われず荒廃が懸念される森林に対し、補助事業により間伐等の森林整備を実施する事業。

・森林整備事業 (10/10支援)	事業費：485,465千円 (予算額：485,543千円)
・森林整備促進事業 (7.5/10支援)	事業費：221,538千円 (予算額：221,538千円)
合 計	事業費：707,003千円 (予算額：707,081千円)
(事業費のうち森林環境基金：556,473千円、国庫：150,530千円)	

○平成26年度実績

- ・森林整備事業 1,327ha (事業費：485,465千円)
- ・森林整備促進事業 446ha (事業費：221,538千円)



森林整備(間伐)実施後状況 (いわき市)



整備実施箇所への看板設置

○累計実績 (平成18～26年度)

- ・森林整備事業 14,832ha (H18～H22 9,191ha H23～H26 5,641ha)
- ・森林整備促進事業 7,715ha (H18～H22 5,743ha H23～H26 1,972ha)

(2) 森林整備地域活動支援交付金事業

【森林計画課】

事業概要

森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から、集約化施策を促進するために必要な森林経営計画の作成支援を行う事業。

- ・森林整備地域活動支援交付金事業 事業費：12,098千円 (予算額：12,098千円)
(事業費のうち森林環境基金：4,033千円、国庫等：8,065千円)

○平成26年度実績 (事業費：12,098千円)

森林組合等が森林経営計画を作成するために必要な森林情報の収集や森林経営計画への参画における森林所有者の同意取得等の活動に対し支援を行った。
森林経営計画作成促進支援：1,375ha

○累計実績 (平成23～26年度)

森林経営計画作成促進支援：34,192ha

(3) 森林環境適正管理事業

【森林計画課】

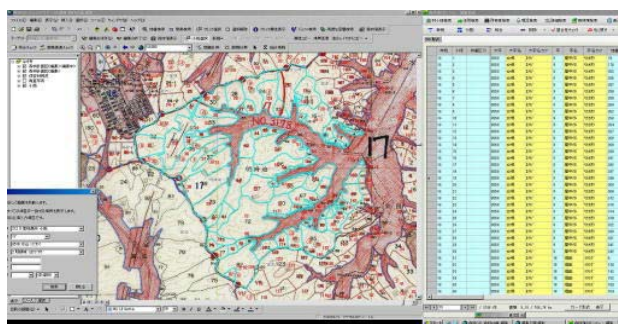
事業概要

森林環境を適正に管理し業務の効率化を図るために森林GISの運用を行うとともに、地図上で森林情報を確認できるウェブサイト「ふくしま森まっぷ」を活用し、県民へ情報を発信する事業。

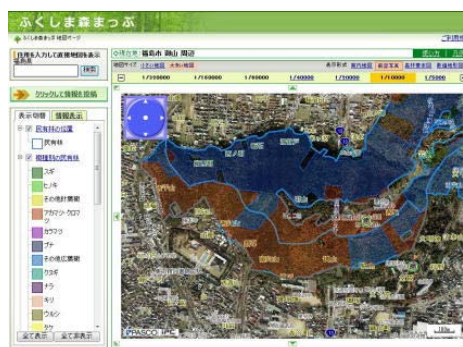
- ・森林情報 (GIS) 活用推進事業 事業費：5,758千円 (予算額：5,818千円)

○平成26年度実績（事業費：5,758千円）

森林GISを構成する①森林資源情報システム、②施業履歴管理システム、③森林情報発信システムの保守・運用業務を委託事業により実施した。



「森林GIS」による森林資源情報の表示



「ふくしま森まっぷ」の表示

○累計実績（平成18～26年度）

森林GIS開発 平成18～20年度 合計 191,715千円

ふくしま森まっぷ（平成21年度公開）

アクセス件数 422,774件（平成26年度実績）

もり

(4)花粉の少ない森林づくり事業

【森林整備課】

事業概要

森林環境に配慮した再生林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う事業。

・花粉の少ない森林づくり推進事業 事業費：986千円（予算額：1,072千円）

・花粉の少ない苗木づくり促進事業 事業費：1,136千円（予算額：1,146千円）

合 計 事業費：2,122千円（予算額：2,218千円）

○平成26年度実績

・花粉の少ない森林づくり推進事業（事業費：986千円）

挿し付け8,500本、苗木配布450本

・花粉の少ない苗木づくり促進事業（事業費：1,136千円）

少花粉スギ採種園造成0.3ha、無花粉スギ採穂園造成0.2ha、700本植栽

地方植樹祭等への配付や、採種園、採穂園用の台木とするため、花粉症対策品種の挿し付けを行った。



配布用少花粉スギ苗木の挿し付け状況



少花粉スギ苗木の植栽状況

○累計実績（平成23～26年度）

ミストハウス（発根促進施設）整備 H23 900千円

少花粉スギ採種園 H26 造成0.3ha

無花粉スギ採穂園 H26 造成0.2ha

花粉症対策品種のさし付け H24～H26 17,700本

苗木配布 H25～H26 900本

2 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(5) 間伐材搬出支援事業

【森林整備課・林業振興課】

事業概要

低炭素社会づくりを進めるため、これまで搬出・利用が十分に進んでいない間伐材等未利用材の搬出を支援することにより建築・合板用材、燃料等の利用拡大を図り、森林が吸収した二酸化炭素の固定化と二酸化炭素排出量削減を促進する事業。

・間伐材運搬経費支援事業	500円/m ³	事業費：7,000千円（予算額：7,000千円）
・林内作業路整備支援事業	500円/m	事業費：25,000千円（予算額：25,000千円）
・間伐材二酸化炭素削減支援事業		
	1,500円/m ³	事業費：37,200千円（予算額：37,200千円）
合 計		事業費：69,200千円（予算額：69,200千円）

○平成26年度実績

- ・間伐材運搬経費支援事業 14,000m³ 補助額：7,000千円【林業振興課】
- ・林内作業路整備支援事業 50,000m 補助額：25,000千円【森林整備課】
- ・間伐材二酸化炭素削減支援事業 24,800m³ 補助額：37,200千円【林業振興課】

間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備及び原木市場、木質燃料加工施設等への間伐材の運搬を支援した。



間伐材搬出支援事業による
間伐材の積み込み（南会津町）



林内作業路整備支援事業により開設した
作業路を利用した間伐材の搬出（いわき市）

○累計実績（平成18～26年度）

山土場から原木市場までの運搬支援	H18～H26	203,401m ³
間伐材搬出に必要な林内作業路整備	H18～H26	426,188m
県内木材バイオマスエネルギー利用施設への 燃料用間伐材の搬出・運搬支援	H24～H26	114,800m ³

(6) 森林整備促進路網整備事業

【森林整備課】

事業概要

路網の未整備により間伐等が遅れている森林に対し、作業道を開設することで森林整備と搬出の促進を図り、森林環境の保全及び森林資源の活用により低炭素社会づくりを目指す事業。

・森林整備促進路網整備事業	4,200円/m	事業費：37,500千円（予算額：37,500千円）
---------------	----------	----------------------------

○平成26年度実績

- ・森林整備促進路網整備事業 9,956m（事業費：37,500千円）
〔うち平成27年度への繰越 1,200m（事業費：4,316千円）〕

水源区域及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する森林に対して、継続的な森林整備の促進を図るため、トラックが通行可能な耐久性のある作業道を開設する経費を助成した。



作業道の作設状況（柳津町）



作業道の完成状況（いわき市）

○累計実績（平成23～26年度）

耐久性のある作業道の開設 H23～H26 37,611m
 [うち平成27年度への繰越 1,200m]

(7) ふくしま低炭素社会づくり推進事業

【林業振興課・森林保全課・建築指導課】

事業概要

県民が一体となった低炭素型社会の形成を進めるため、林業関係者以外による森林整備の推進や木材の利用促進を図る事業。

・カーボンオフセット森森(もりもり)元気事業	事業費： 230千円（予算額： 304千円）
・緑の住宅普及支援事業	事業費： 2,349千円（予算額： 2,424千円）
・ふくしま木の家・担い手応援事業	事業費： 2,500千円（予算額： 2,500千円）
・森と住まいのエコポイント事業	事業費： 24,960千円（予算額： 25,000千円）
合 計	事業費： 30,039千円（予算額： 30,228千円）

○平成26年度実績

- ・ **カーボンオフセット森森（もりもり）元気事業（事業費：230千円）【森林保全課】**
 企業・団体等が社会貢献活動で行う森林整備活動において、今年度は、新たに 2社について森林づくり活動協定を締結した。
 ①陸奥テックコンサルタント株式会社（H26.5.1） 南会津町八総地区 3.00ha
 ②楽天株式会社（H26.12.26） 相馬市山上地区 7.80ha
- ・ **緑の住宅普及支援事業（事業費：2,349千円）【林業振興課】**
 県産材を利用した住宅の建設促進のため、復興関連イベントへの県産材住宅モデルの出展・展示、家づくりワークショップ等の普及啓発活動を実施した。
 ①住宅モデルを出展・展示したイベント
 会津ブランドものづくりフェア（会津若松市）
 ふくしまみんなの住宅フェア（郡山市、いわき市）
 地域復興イベント福島県林業祭（郡山市）
 ②家づくりワークショップ等（11回開催） 参加者数（合計）1,021名
- ・ **ふくしま木の家・担い手応援事業（事業費：2,500千円）【建築指導課】**
 県産木材を活かした家づくりの担い手である県内の大工・工務店等の技術者ネットワークを構築し、技術者の紹介や情報交換を行うホームページを開設した。
 また、県産木材活用に向けたセミナーを開催するとともに住宅フェアにおいて県産木材の良さをPRした。
 担い手ネットワーク登録者数 H26 55名
 技術力・営業力向上セミナー H26 4回 参加者126名
- ・ **森と住まいのエコポイント事業（事業費：24,960千円）【建築指導課】**
 構造材及び間柱に所定の県産木材を使用するなどの要件を満たす住宅の建築主に対し、1戸あたり20万円相当（被災者等は30万円相当）の補助を行い、県産木材の利用促進を図った。
 補助実績：106棟（うち被災者等への補助は28棟）



森林づくり活動協定
(陸奥テックコンサルタント株式会社)



家づくりワークショップ
「木の家講座」(福島市)



ちびっ子大工体験
「ふくしまみんなの住宅フェア」(南相馬市)



森と住まいのエコポイント事業を活用した
住宅の内観(いわき市)

○累計実績

・カーボンセット森森(もりもり)元気事業(平成22~26年度)

森林づくり活動協定締結 7件

H22	(株) 東芝	福島市佐原地区	4.20ha
	(社) 福島県トラック協会	下郷町中山地区	0.60ha
	イオングループ3社	ふくしま県民の森	8.16ha
H24	(株) 東邦銀行	北塩原村大塩地内	2.06ha
H25	(株) みずほフィナンシャルグループ	いわき市平下大越地区	2.27ha
H26	陸奥テックコンサルタント(株)	南会津町八総地区	3.00ha
	楽天(株)	相馬市山上地区	7.80ha
合計7件			28.09ha

・緑の住宅普及支援事業(平成22~26年度)

ふくしま緑の家づくりセミナー H22 県内7方部で実施 参加者300名

住宅モデルのイベントへの出展・展示 H22~H26 15回

家づくりワークショップ等の開催 H22~H26 46回 参加者3,148名

・ふくしま木の家・担い手応援事業(平成26年度)

担い手ネットワーク登録者数 H26 55名

技術力・営業力向上セミナー H26 4回 参加者126名

・森と住まいのエコポイント事業(平成25~26年度)

補助実績 H25~H26 211棟(うち被災者等への補助58棟)

事業概要

公共施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等によって、県民の木材利用に対する意識を醸成し、一般住宅等民間建築物における県産材の利用拡大やバイオマスイエネルギー利用機器の普及を図り、低炭素型社会の実現に資する事業。

・木景観形成促進事業	事業費：4,000千円	(予算額：4,000千円)
・新「ほっと」スペース創出事業	事業費：3,489千円	(予算額：3,500千円)
・木とのふれあい創出事業	事業費：3,024千円	(予算額：3,024千円)
・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業	事業費：3,233千円	(予算額：3,287千円)
合 計	事業費：13,745千円	(予算額：13,811千円)

○平成26年度実績

・木景観形成促進事業（事業費：4,000千円）

県内民間団体等を事業主体とし、提案公募型での県産材を活用した施設の整備に対し支援を行った。（4か所）

- | | |
|------------------------|------------|
| ① ふれあい広場（大玉村） | ベンチ及びテーブル |
| ② 特別養護老人ホームの地域交流室（郡山市） | 応接テーブルセット等 |
| ③ 滝桜周辺の遊歩道など（三春町） | テーブル・ベンチ |
| ④ 社会福祉法人施設駐車場（いわき市） | 木製の塀 |

・新「ほっと」スペース創出事業（事業費：3,489千円）

高等学校、職業能力開発校等とデザイン・製品製作について連携しながら、公共建築物等にPR性の高い県産材製品を設置・展示した。（7か所）

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① 北福島医療センター（伊達市） | デザインテーブル2台・デザイン椅子2台 |
| ② 郡山運転免許センター（郡山市） | チラシラック1台・バリケード10基 |
| ③ 新白河駅（西郷村） | プランター12基・テーブル1台・ベンチ2台 |
| ④ 会津自然の家（会津坂下町） | 傘立て2基・上履き入れ3基 |
| ⑤ 南会津警察署（南会津町） | 卓上衝立2個・案内掲示板1個 |
| ⑥ 特別養護老人ホーム「新地ホーム」（新地町） | 食堂用台車・書類棚・踏み台等 |
| ⑦ 県立平養護学校（いわき市） | カタログラック3基・スタッキング椅子3脚 |

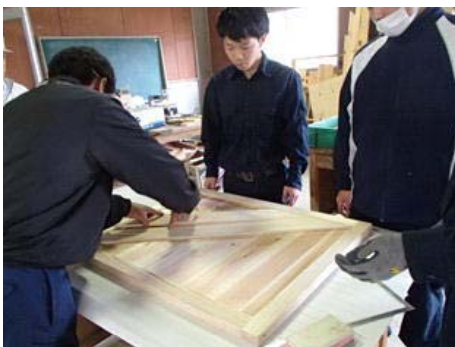
・木とのふれあい創出事業（事業費：3,024千円）

木を学び親しむ機会を創出するため木工工作用資材を配布するとともに、各方部での出前講座、林業祭での木工工作教室を実施した。

木工工作用資材配布 124校、出前講座7回

・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業（事業費：3,233千円）

木質バイオマスイエネルギー利用機器の民間における導入支援（64台）を行った。（ペレットストーブ23台、薪ストーブ41台、補助額：5万円/台）



田島高校の生徒による製品作成・設置
（南会津警察署）



小学校で開催した出前講座（西郷村）

○累計実績（平成23～26年度）

・木景観形成促進事業（平成24～26年度）

民間団体等による県産材を活用した施設整備 14か所

・新「ほっと」スペース創出事業（平成23～26年度）

公共建築物等への県産材製品の設置・展示 34か所

・木とのふれあい創出事業（平成24～26年度）

木工工作用資材提供 442校、出前講座の実施 22校

・バイオマス暖房でCO2ダイエット事業（平成23～26年度）

合計 183台（内訳 ペレットストーブ53台、薪ストーブ126台、兼用4台）

3 市町村が行う森林づくりの推進

(9) 森林環境交付金事業

【森林計画課】

事業概要

県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する事業。

- ・ 森林環境基本枠 事業費：185,264千円（予算額：185,337千円）
全ての市町村に対し一定の取り組みを継続的に実施できるよう支援
対象分野：①県民参画の推進、②森林の適正管理推進、③森林環境学習の推進、
④森林整備の推進
 - ・ 地域提案重点枠 事業費：87,189千円（予算額：87,190千円）
市町村の創意工夫による優れた提案事業
対象分野：①県産材の利活用推進、②木質バイオマスの利活用推進、③その他
-
- 合計 事業費：272,453千円（予算額：272,527千円）

○平成26年度実績

・ 森林環境基本枠（事業費：185,264千円）

57市町村、交付金185,264千円（震災の影響により2町が未実施）

最大12,762千円（いわき市）、最小114千円（広野町）、平均3,250千円

- ① 県民参画の推進（32市町村、交付金20,027千円）
県民を対象とした森林教室、森林観察、林業体験、等
・ 地域住民参加による森林作業と木工の体験を実施（矢祭町）など
 - ② 森林の適正管理推進（7市町村、交付金7,006千円）
森林整備のための協定締結、現地調査・測量
・ 8haの森林景観整備の実施に向け所有者との協定を締結（郡山市）など
 - ③ 森林環境学習の推進（54市町村、交付金68,000千円）
森林環境学習実施校 小学校291校、中学校89校、計380校（全702校の54%）
・ 地元に伝わる紙すきの体験学習（いわき市入遠野中学校）など
 - ④ 森林整備の推進（30市町村、交付金68,855千円）
間伐、野生生物との共生林整備、等
・ 野生生物との棲み分けを図る緩衝帯600mの整備（国見町）など
- ※ほか市町村による基金積立9町村、交付金21,355千円



県民参画の推進（矢祭町）



森林環境学習の推進（いわき市）

・ 地域提案重点枠（事業費：87,189千円）

20市町村、50件、交付金87,189千円

- ① 県産材の利活用推進（20市町村、45件、交付金75,620千円）
小中学校・幼稚園等の木造・木質化、木製机椅子等の導入、など
・ 役場新庁舎の内装材に会津産材を使用し木質化（湯川村）など
- ② 木質バイオマスの利活用推進（2市、3件、交付金3,569千円）
ペレットストーブ導入 合計9台
・ 市立川前小学校など5か所に導入（いわき市）など
- ③ その他（2市、2件、交付金8,000千円）
10月4日から11月3日まで「会津・漆の芸術祭2015」を開催（会津若松市）など



県産材の利活用推進（湯川村役場）



木質バイオマスの利活用推進（いわき市）

○累計実績（平成18～26年度）

・森林環境基本枠

- ①県民参画の推進実施 H18～H26 49市町村
- ②森林の適正管理実施 H18～H26 24市町村
- ③森林環境学習実施 H18～H26 全60市町村（※旧飯野町を含む）
延べ3,424校、実数674校（全702校の96%）
- ④森林整備実施 H23～H26 43市町村、間伐、危険木除去等476ha

・地域提案重点枠

- ①森林整備実施 H18～H22 47市町村 210件（間伐等1,087ha）
- ②県産材の利活用推進実施 H18～H26 49市町村 295件
（うち小中学校・幼稚園等の木造・木質化20件、木製机椅子等の導入51件）
- ③木質バイオマスの利活用推進実施
H18～H26 28市町村 68件
（ペレットストーブ228台 薪ストーブ8台）
- ④その他の取組実施 H18～H26 9市町 29件
（漆の芸術祭、PTA等による里山環境再生、等）

4 県民参画の推進

(10) 林業普及推進事業

【林業振興課】

事業概要

森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る事業。
・担い手緑化推進事業 事業費：400千円（予算額：400千円）

○平成26年度実績（事業費：400千円）

平成26年10月25日（土）、26日（日）に開催された林業祭において、木工工作体験やチェーンソーアートなどの各種イベント、林業復興をテーマとしたシンポジウム、きのこ品評会や料理教室などの実施により、森林・林業・木材産業の復興への取り組みの状況をお知らせし、併せて森林・林業の再生に対する県民意識の醸成を図った。

- ・来場者：3,500名



展示・体験の様子



チェーンソーアートの実演

○累計実績（平成22～26年度）

- 林業祭 H22～H26 来場者累計12,200人

(11) 森林環境学習の森整備事業**【森林保全課】****事業概要**

全ての県民が、森林環境税の重要性や林業の役割についての学習や、森林とのふれあいのために、容易に利用できるフィールドの整備を行う事業。

・ 県有林フィールド整備事業	事業費：2,672千円	(予算額：2,672千円)
・ 歩道バリアフリー化事業	事業費：8,716千円	(予算額：8,742千円)
合 計	事業費：11,388千円	(予算額：11,414千円)

○平成26年度実績

- ・ 県有林フィールド整備事業 (事業費：2,672千円)
施設名：舟津県有林 工種：木製階段75段 歩道工 L=282m
- ・ 歩道バリアフリー化事業 (事業費：8,716千円)
施設名：福島県総合緑化センター 工種：バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²



舟津県有林におけるフィールド整備
(郡山市)



総合緑化センターバリアフリー化
(郡山市)

○累計実績 (平成23～26年度)

- ・ 県有林フィールド整備事業 平成23～26年度
5施設 (県民の森、昭和の森、緑化センター、翁島県有林、舟津県有林)
間伐、除伐、危険木除去等 12.15ha
木製手すり設置 58.2m 案内板等設置
木製階段 75段 歩道工 282m
- ・ 歩道バリアフリー化事業 平成23～26年度
2施設 (県民の森、緑化センター)
木質系チップ舗装歩道 330m
バリアフリー歩道 L=150m、木質舗装211m²

(12) 森林ボランティア総合対策事業**【森林保全課】****事業概要**

県民参加による森林づくり運動を推進するため、県民への森林ボランティア活動への参加支援と森林整備ボランティアの核となる人材育成を行う森林ボランティアサポートセンターを運営するとともに、県内各地域において積極的な森林整備活動を行うボランティア団体の活動支援を行い、県民の森林づくり推進に向けた総合的な環境整備を行い、「循環の理念」の具現化を図る事業。

・ 森林ボランティア活動推進事業	事業費：1,577千円	(予算額：1,577千円)
・ 森林ボランティアサポート事業	事業費：6,017千円	(予算額：6,018千円)
合 計	事業費：7,594千円	(予算額：7,595千円)

○平成26年度実績

- ・ 森林ボランティア活動推進事業 (事業費：1,577千円)
森林整備活動や森林づくり意識醸成活動などを実施した10団体に対して1,577千円を補助した。
- ・ 森林ボランティアサポート事業 (事業費：6,017千円)
森林ボランティアサポートセンターを引き続き「県民の森」内に設置し、ホームページ及び広報誌 (森ボラ新聞4回発行) によるイベントなどの情報提供、相談業務、森林整備機材の貸出等を行った。
(ホームページアクセス件数 (H26.4～H27.3) 77,447件、平均6,454件/月)



森林ボランティアサポートセンターHP



サポートセンターの活動の様子

○累計実績（平成18～26年度）

森林ボランティア団体支援 H18～H26 140団体
 ホームページアクセス件数 H18～H26 365,289件

もり

(13) 森林づくり指導者育成事業

【森林保全課】

事業概要

一般県民及び児童生徒等の森林環境学習を推進するため、指導者の育成を行う事業。

- ・ 第3期もりの案内人養成事業 事業費：1,869千円（予算額：1,923千円）
- ・ 森林環境学習指導者育成事業 事業費：249千円（予算額：377千円）

合計 事業費：2,118千円（予算額：2,300千円）

○平成26年度実績

- ・ 第3期もりの案内人養成事業（事業費：1,869千円）

森林とのふれあいを通して森林の役割や重要性を広く県民に伝えるボランティアである指導者の養成を行った。認定者14名。

- ・ 森林環境学習指導者育成事業（事業費：249千円）

森林環境及びその指導方法について、特に専門的な知識と指導技術に関する研修会を開催し、指導技術の一層の向上を図りながら、森林環境学習の場において活躍できる指導者を育成した。参加者29名。



第3期もりの案内人養成講座の開催状況

○累計実績（平成23～26年度）

もりの案内人養成者数 H24～H26 46人（前身事業も含めた累計は491人）
 森林環境学習指導者育成講座参加者 H24～H26 132人

(14) 県立学校における森林自然学習支援事業

【高校教育課】

事業概要

県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動費を支援する事業。

- ・ 県立学校における森林自然学習支援事業 事業費：2,127千円（予算額：2,274千円）

○平成26年度実績（事業費：2,127千円）

実施校数 9校

①安達東高校

外部講師を招いてマツ材線虫病について学び、全国の被害の様子や地元林業の状況について知ること、環境問題や地元の林業についての意識を高めた。また、桜の植栽を行い、露地以外に鉢植えによる栽培について学んだ。

②岩瀬農業高校

森林周辺の肥沃な湿地帯に群生し、森林環境の影響を強く受けるサギソウの保護活動を通して、森林の重要性と環境保護への理解を深めるとともに、発表や地域住民との交流を通して地域への情報発信と学校理解への深化を図った。

③修明高校鮫川校

紙芝居を活用して、森林の役割について生徒が思考し、自然界の中の森林の重要性について、理解を深めた。

④耶麻農業高校

炭窯づくりや白炭作成を通じて、森林環境の保全や樹木に対する興味関心を高めた。また、炭材を採取することにより、山が保全管理され、地域の環境改善・森林保全・国土保全につながることを学習した。

⑤川口高校

奥会津の植生を学習するとともに、日本ミツバチの生態について大学教授の講演会により学習した。また、絵ろうそく作り、漆塗り、桐細工など、地域資源の活用について体験した。

⑥会津農林高校

ツリークライミングを通して森林の魅力を感じるとともに、間伐・玉切り等の林業作業や、学校へ運んでの製材を実施し、伐採から製材までの木材の利活用について体験した。また、活動内容について、会津農林高校の広報誌である「会農通信」（年5回発行）に掲載し、坂下町内および近隣中学校に配布した。

⑦南会津高校

2回の林業体験学習と講話を通して、森林と自分たちの生活との関係や、森林保全や治山事業が地域社会に果たしている役割について理解を深めるとともに、地域の教材を生かした活動の実施により「地域とともに生きる」ことについて考えを深めた。また、学年通信を通して保護者への広報に努めた。

⑧あぶくま養護学校

海老根和紙の手漉き体験（蒸したコウゾの皮むき、繊維を叩いて細かくする作業や、冷たい水槽に手を入れての手漉き作業）を実施し、森林資源を利用した先人の知恵の豊かさを実感した。また、作品や写真などを校内に展示するとともに、取組について学年だよりや学級だより等に掲載し、保護者や関係機関等に周知した。

⑨会津学鳳中学校

森林生態系への理解と関心を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むため、磐梯山周辺の自然観察を通して、森林での体験型学習を実施した。また、福島県産の間伐材を利用したプランターの製作を通して林業や森林資源の理解と関心を深めた。



自然観察の実施（会津学鳳中学校）



林業体験の実施（会津農林高校）

○累計実績（平成18～26年度）

実施校数 H18～H26 17校（延べ実施校数 50校）

事業概要

震災や原子力災害発生以降の福島県の森林の現状に対する理解を深めるとともに、森林づくり活動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と、平成30年全国植樹祭に向けた森林づくり活動の意識醸成を図る事業。

- ・ 森林環境情報発信事業 事業費：6,006千円（予算額：6,085千円）
 - ・ 森林づくり県民運動推進事業 事業費：2,182千円（予算額：2,643千円）
- 合計 事業費：8,188千円（予算額：8,728千円）

○平成26年度実績

・ 森林環境情報発信事業（事業費：6,006千円）【森林計画課】

県政特集記事、県政テレビ番組、ポスター及びパンフレット等により、森林環境税を活用した取組のほか、森林の整備と再生や県産材の利活用、森林づくりの推進、森林モニタリング調査の結果などについて発信した。

県政特集記事「豊かな森林を未来の子どもたちへ」

H26. 8. 24 福島民報、福島民友新聞

県政テレビ番組「福島調査隊 森と人のつながり『イグネ』」

H26. 11. 29 福島テレビ

県内コミュニティFM放送局ラジオCM H27. 3. 11～30

放送局（6局） FMポコ（福島市）、FMもっと.com（本宮市）、KOCOラジ（郡山市）、FM愛's（会津若松市）、喜多方シティエフエム（喜多方市）、SEA WAVE FMいわき（いわき市）

放送回数 684回（114回×6局）

ポスター・パンフレット「豊かな森林を未来の子どもたちへ」

ポスター 750枚、パンフレット 45,000部

・ 森林づくり県民運動推進事業（事業費：2,182千円）【森林保全課】

地域における森林づくり活動の意識醸成を図るワークショップを開催するとともに、全国植樹祭平成30年福島県開催内定を記念し、各種行事に全国植樹祭PRブースを出展した。

① 森林づくりワークショップ（3か所）

県南地区、南会津地区（H27. 1. 15）、いわき地区（H27. 1. 16）

② 全国植樹祭PR活動（5か所）

- 第44回全日本オートキャンプ大会 (H26. 9. 13～15 大玉村)
- 「おいしいふくしまいただきます！」フェスティバル (H26. 9. 16、17 いわき市)
- 第68回全国レクリエーション大会 (H26. 9. 20、21 福島市)
- 第12回うつくしま育樹祭 (H26. 10. 4 猪苗代町)
- 第39回福島県林業祭 (H26. 10. 25、26 郡山市)



県政特集記事掲載
(福島民報・福島民友新聞)



全国植樹祭PR活動
(第68回全国レクリエーション大会)

○累計実績（平成25～26年度）

・森林環境情報発信事業（平成25～26年度）

新聞記事掲載 2回

H25. 4. 6 福島民友新聞、H26. 8. 24 福島民報、福島民友新聞

県政広報テレビ放映 2回

H26. 2. 25 福島テレビ、H26. 11. 29 福島テレビ

ラジオCM

H27. 3. 11～30 県内コミュニティFM放送局全6局 合計684回

森林環境情報パンフレット、ポスター作成 2回

合計 パンフレット 95,000部、ポスター 1,750枚

・森林づくり活動推進事業（平成25年度）

森林づくり検討委員会開催 3回 委員7名

「森林づくり活動推進についての提言」取りまとめ（H25. 12. 20）

・森林づくり県民運動推進事業（平成26年度）

森林づくり活動ワークショップ 3か所

全国植樹祭PR活動 5か所

(16) 全国植樹祭準備事業

【森林保全課】

事業概要

平成30年全国植樹祭に向け、緑豊かな森林の再生を進め、全国からの支援への感謝の気持ちを発信する、シンボル事業となるよう、開催準備を進める事業。

・全国植樹祭準備事業 事業費：1,681千円（予算額：2,971千円）

○平成26年度実績

・全国植樹祭準備事業（事業費：1,681千円）

①全国植樹祭福島県準備委員会（合計3回）

第3回（平成26年5月22日）

・第69回全国植樹祭基本構想骨子（案）について ・開催候補地の選定について

第4回（平成26年11月28日）

・第69回全国植樹祭基本構想（案）について

・サテライト会場等の選定方針（案）について

第5回（平成27年1月30日）

・南相馬市における式典会場の候補地について（報告）

・第69回全国植樹祭基本構想（案）について

・サテライト会場の選定等（案）について

「第69回全国植樹祭基本構想」取りまとめ

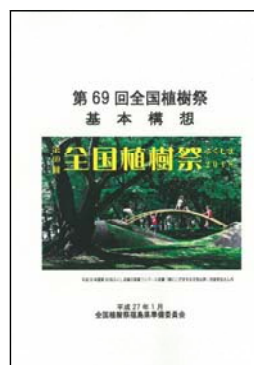
②緑化活動に関するアンケート調査

県内各市町村の小学校の先生や保護者に対し、児童の緑化活動に関する意見を把握し、来年度以降の緑化活動等の取組の参考とするため、アンケート調査を実施した。

総回収数：4,372件（内訳 ①小学校の先生：1,791件 ②保護者：2,581件）



全国植樹祭福島県準備委員会の開催



第69回全国植樹祭基本構想

○累計実績（平成25～26年度）

全国植樹祭福島県準備委員会開催 H25～H26 5回 委員36名

「第69回全国植樹祭基本構想」取りまとめ H26

緑化活動に関するアンケート調査 H26

5 森林文化の継承

(17) ふくしまの森林文化継承事業

【森林計画課・林業振興課】

事業概要

先人たちが育んできた森林と人の絆（つながり）である森林文化や木の文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、県民への普及PRを行う事業。

・ふくしまの森林文化継承事業	事業費：5,439千円（予算額：5,459千円）
・木（森）に由来する伝統文化継承事業	事業費：2,539千円（予算額：2,552千円）
合 計	事業費：7,978千円（予算額：8,011千円）

○平成26年度実績

・ふくしまの森林文化継承事業（事業費：5,439千円）【森林計画課】

①森林文化調査業務を特定非営利活動法人超学際的研究機構に委託し、県内の森林文化の調査を実施した。森林文化調査検討委員会を2回開催し、有識者の意見を踏まえて実施した調査結果を調査カードに取りまとめるとともに、森林文化を継承していくための記録映像を2本作成し、県HPで公開した。

- ・鷹匠（後編）（福島市 高木利一氏）
- ・上川崎和紙（二本松市 二本松市和紙伝承館）

②森林文化公開体験事業を財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団に委託し、浜通り地域を中心に見られる屋敷林「イグネ」をテーマに、ふくしま県民の森フォレストパークあだたらにおいて、展示（平成26年8月9日～24日）と、講演会および樹木の植栽（平成26年11月16日）を実施した。参加者合計122名。

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（事業費：2,539千円）【林業振興課】

①木（森）に由来する伝統文化継承事業体験イベント

「未来につなごう！漆とつる細工」をテーマに、会津若松市において、漆勉強会と漆器絵付け体験、漆林見学、編み組体験を実施した。参加者45名。
（委託先：会津流域林業活性化センター）

②木（森）に由来する伝統文化継承業務（野生きのこ）

林業祭において、きのこ料理教室と野生きのこを利用した郷土料理の試食、野生きのこを使った郷土料理や保存食等に関するパネルの展示を行った。

また、野生きのこの原種菌保存のため、継代培養を行った他、野生きのこの栽培を行い試食用の郷土料理に用いた。きのこ料理教室の参加者60名（30名×2日）。

（委託先：を公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会）



県民の森での公開体験事業（大玉村）



漆器絵付け体験の様子（会津若松市）

○累計実績

・ふくしまの森林文化継承事業（平成24～26年度）

森林文化公開体験イベント開催	H24～H26	3回	合計参加者326名
森林文化調査カード公開	H24～H26	85件	(H18からの累計実績135件)
森林文化記録映像公開	H24～H26	7テーマ8本	

(H18からの累計実績10テーマ11本)

・木（森）に由来する伝統文化継承事業（平成25～26年度）

伝承文化継承イベント開催	H25～H26	3回	参加者合計155名
--------------	---------	----	-----------

事業概要

木材などの有益な資源であることはもとより、森林が人々の心に与える力と効果に注目し、芸術文化の視点から福島の森林とそれに関わる文化・生活・産業を再発見するとともに、あらたな森林の活用法の提言、発信を行い、地域再生を目指す事業。

・森林文化の活用による地域再生事業 事業費：12,040千円（予算額：12,040千円）

○平成26年度実績（事業費：12,040千円）

事業のスタートを切る、キックオフフォーラムを福島県立博物館で開催した。

その後、12名のアーティストが喜多方市、西会津町、三島町の各地域に滞在し、地元の方々と交流を深めながらアートプログラムを展開した。

・森のはこ舟アートプロジェクトキックオフフォーラム

平成26年6月21日（土） 13:00～

鼎談：中村桂子（JT生命誌研究館館長）、和合亮一（詩人）、赤坂憲雄（福島県立博物館館長）

アーティストトーク：逢坂卓郎、片桐功敦、岩間賢、EAT&ART TARO

・喜多方エリアプログラム 4プログラム、計10回 参加者約750名

①「高郷プロジェクト」(稲垣立男) H27. 2. 18～27 1回

②「楚々木樂舎」(岩間賢) H26. 9. 9～H27. 3. 8 計7回

③「森と人のミステリウム」(金子富之) H26. 12. 15～28 1回

④「katugu-かつぐ」(滝沢達史) H27. 2. 21～22 1回

・西会津エリアプログラム 4プログラム、計8回 参加者約830名

①「森の食文化ワークショップ」(木村正晃) H26. 8. 17～11. 15 計3回

②「森をえがく」(村山修二郎) H26. 10. 31～11. 18 計3回

③「草木をまとめて山のかみさま」(片桐功敦) H26. 6. 28～29 1回

④西会津エリア・プログラム成果展 H26. 11. 8～12. 13 1回

・三島エリアプログラム 5プログラム、計10回 参加者約1,500名

①「食のはこ舟」(EAT&ART TARO) H27. 2. 22 1回

②「森 光 水-Natural Energy Valley MISHIMA-」(逢坂卓郎) H27. 1. 13～24 1回

③「森の祈り×サイの神」(千葉清藍) H26. 7. 15～H27. 1. 15 3回

④「三島和楽」(古川弓子) H26. 10. 5～H27. 3. 7 4回

⑤「地芝居をつくろう・I 『平田オリザ演劇プロジェクト』」(平田オリザ) H26. 12. 20 1回



森と人のミステリウム
(喜多方エリア)

開催日：H26. 12. 15-28

会津の森の中で感じた、不可視の雰囲気や気配をアーティストが表現し、美術評論家との対談により解説。



草木をまとめて山のかみさま
(西会津エリア)

開催日：H26. 6. 28-29

一般参加者が山野の草木を採集し、身にまとった姿を、大山祇神社の神楽殿で披露した。



森の祈り×サイノカミ
(三島エリア)

開催日：H26. 7. 15-H27. 1. 15

三島の桐でできた「サイの札」(絵馬)に願いを書き、山の神を祀る三島神社に奉納し、伝統行事の「サイノカミ」において祈願した。

○累計実績（平成26年度）

- ・喜多方エリア 4プログラム、計10回 参加者約 750名
- ・西会津エリア 4プログラム、計8回 参加者約 830名
- ・三島エリア 5プログラム、計10回 参加者約1,500名

6 森林環境の調査研究

(19) 猪苗代湖水環境保全対策調査事業

【水・大気環境課】

事業概要

紺碧の猪苗代湖を復活させ、水辺環境保全に向けた活動を県民が一丸となって積極的に推進していくため、山林からの排出負荷実態調査などを実施し、猪苗代湖の水環境保全に向けた検討を行う事業。

- ・猪苗代湖水環境保全対策調査事業 事業費：1,706千円（予算額：1,707千円）

○平成26年度実績（事業費：1,706千円）

猪苗代湖流域における森林施業が水環境に与える影響及び効果を把握するため、森林整備区域内等の溪流の水質調査「猪苗代湖流域における山林負荷実態調査」を委託により実施した。

- ・調査実施場所：猪苗代町若宮地区 8地点
- ・調査回数・時期：18回/年（5月～10月までの6月）
- ・調査項目：水温、透視度、流量、窒素、りん、COD等



調査地点の事前調査の様子（猪苗代町）



採水の様子（猪苗代町）

○累計実績（平成24～26年度）

森林整備による水質への影響を複数年調査により把握する調査を平成24年度より実施中であり、平成27年度に結果を取りまとめる予定。

7 森林環境基金の運営

(20) 森林環境基金運営事業

【森林計画課】

事業概要

森林環境基金事業の適正な執行と透明性を確保するために「森林の未来を考える懇談会」を運営するとともに、平成28年度以降の森林環境税制度や活用した取組についての県民の意向を把握する県民アンケート調査等を実施する事業。

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業 事業費：782千円（予算額：996千円）
 - ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業
事業費：1,883千円（予算額：1,997千円）
-
- 合 計 事業費：2,665千円（予算額：2,993千円）

○平成26年度実績

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（事業費：782千円）

森林の未来を考える懇談会を4回開催した。

第1回（平成26年8月5日）

- ・平成25年度事業の実績について
- ・平成26年度事業の実施について
- ・タウンミーティングなどの県民の声を聴く取組の実施について

第2回（平成27年1月14日・15日）

- ・森林環境基金事業実施箇所現地調査（いわき方部）、意見交換

第3回（平成27年2月12日）

- ・森林づくりタウンミーティングの結果について
- ・県民アンケート調査の結果について
- ・森林環境税制度に関する検討スケジュールについて 等

第4回（平成27年3月24日）

- ・市町村及び関係団体アンケートの実施結果について
- ・森林環境税を活用した取組に対する意見について
- ・平成26年度事業の実績見込について
- ・平成27年度事業の概要について

・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（事業費：1,883千円）

森林づくりタウンミーティング及び県民アンケート調査等を実施した。

○森林づくりタウンミーティング（H26.10.7～28）

県内7方部で開催し、制度継続の強い意見をいただいた。合計参加者364名。

○県民アンケート調査（H26.10.25～12.25）

合計10,900件の回答があり、制度継続の回答が約95%（前回H21は約92%）であった。また、里山や竹林の整備や、県産材の利活用に対し、県民の意向が強いという結果となった。

○市町村・関係団体アンケート（H27.3月）

県内59市町村、及び県内森林、林業、森林づくり関係団体41団体を対象に実施し、全てが「継続すべき」との回答であり、うち「現在のまま継続」が72%（前回H21は38%）を占めた。



森林の未来を考える懇談会
現地調査の様子（いわき市）



タウンミーティングの様子（南会津町）

○累計実績

- ・森林の未来を考える懇談会運営事業（平成18～26年度）
懇談会開催 H18～H26 35回 委員10名
- ・森林環境税関連施策検討事業（平成24～25年度）
森林環境基金事業成果発表会開催 H24～H25 2回 発表題数16題
- ・森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業（H26）
森林づくりタウンミーティング 7回 参加者合計364名
森林環境税に関する県民アンケート H26.10.25～12.25 回答数10,900件
市町村・関係団体アンケート 1回